

～研究に関するお知らせ～

研究の名称：S 状結腸憩室炎による結腸膀胱瘻症例における

腹腔鏡下手術の検討

2025 年 11 月 4 日

横浜医療センター外科では、下記の研究を行います。

この研究は条件を満たす患者さん全員を対象といたします。もし、この研究への参加を希望されない場合は対象といたしませんので、最終ページに記載のお問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

- 研究の対象となる方

2016 年 4 月から 2025 年 3 月までに当院外科で憩室炎による結腸膀胱瘻症例で手術を受けた患者さん

- ご協力いただく内容

上記の対象期間中に診療録に記載された診療情報を研究に使用させていただきます。使用に際しては「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、個人情報には厳重に保護した状態で行います。

- 研究の概要

- 研究の目的および意義

結腸憩室炎における治療術式の最適な選択を行うため、短期成績を比較検討し、治療方法を検討する。

- 研究の期間

倫理審査委員会承認日～2027年12月31日

- 研究の方法

2016年4月1日から2025年3月31日までに、当院外科で結腸膀胱瘻に対して手術を受けた患者さんの年齢、性別、画像所見、血液検査所見、手術中の所見、術後経過などのデータを調査し、結腸膀胱瘻の患者さんの術後経過の特徴を明らかにし、最適な治療方針について検討を行います。

- 外部への情報等の提供、個人情報等の取扱い

この研究で得られた情報は、患者さんを特定できる情報（氏名、住所、電話番号、生年月日等）は記載せず、本研究固有の症例番号（症例ごとに採番）にて管理します。

症例番号とカルテ患者ID等の対応表データを別途作成します。作成する対応表データはパスワード保護の上、研究責任者が厳重に管理します。

この研究の成績をまとめて学会発表や学術論文として公表されることもありますが、いずれの場合も患者さんの名前等の個人的な情報は一切公表されません。また、この研究で得られたデータがこの研究の目的以外に使用されることはありません。

- 研究の資金源

本研究は、資金を要しない研究です。

- 利益相反に関する状況

本研究における、開示すべき利益相反は特にありません。

※臨床研究における利益相反とは

「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、また歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

- 研究の実施体制

研究代表者：大石裕佳 横浜医療センター 外科 医師

研究分担者：藤井義郎 横浜医療センター 医療管理部長

- ご質問等について

本研究に関するご質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

<お問い合わせ先>

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター

外科 大石 裕佳

外科 藤井 義郎 医療管理部長

〒245-8575 神奈川県横浜市戸塚区原宿 3-60-2

電話 045(851)2621 (代表) ※平日 8:30~17:15